2026 年 11 月 5 日

＜当院の脳神経内科において治療を受けられた患者さん＞ 臨床研究のご協力をお願いいたします。

「嚥下造影検査における摂食評価と退院時の食事形態の関連−地域急性期病院における後方視的検討−」
に関する臨床研究を実施しております。

埼玉県済生会加須病院**倫理審査委員会の審査による委員長の承認を得て、**調査を行っています。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	承認番号第　１１１　号
研究課題名	嚥下造影検査における摂食評価と退院時の食事形態の関連-地域急性期病院における後方視的検討-
所属(診療科等)	脳神経内科
研究責任者(職名)	済生会加須病院 脳神経内科　氏名　尾上 祐行
分担研究者	済生会加須病院　看護部 2 名、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 3 名、栄養科 1 名
研究の意義、目的	当院で通常診療として嚥下造影検査 (VF) を受けた患者について、VF 前の栄養・摂食状況、VF 後の推奨食形態・摂食方針、退院時の実際の食事形態・経口摂取状況を診療録から後方視的に比較する。 検査時の評価と退院時の実態の一致・不一致およびその背景を記述し、VF 評価の臨床的意義と限界を検討する。
対象となる患者さん	2026 年 1 月 1 日～2026 年 10 月 31 日に当院で VF を実施した患者。機関内の VF 実施例を連続登録し、研究利用を拒否した患者は除外する。前後の方針が不明な場合は当該解析から除外し、欠測数を報告する。
利用するカルテ情報／検体　等	年齢、性別、主な基礎疾患、入院・外来、VF 実施日・初回/再検、VF 前の経口摂取の有無、食形態・栄養経路（末梢点滴、中心静脈栄養、経管栄養等)、VF 所見（誤嚥、喉頭侵入、咽頭残留等)、VF 所見直後の推奨経口摂取可否・推奨食形態・摂取方法、退院時の経口摂取の有無・実際の食形態・補助栄養の有無、VF から退院までの日数。推奨と退院時時の状況が異なる場合は、診療録に記載された理由（肺炎再発、全身状態変化、摂取量不足、再評価等）を収集する。死亡。転院・未退院・記録欠測は別途記録する。

研究方法	通常診療の VF 記録と入院診療録・退院時記録を後方視的に確認する。患者単位では対象期間内の初回 VF を主解析とし、VF 前、VF 直後の推奨、退院時の 3 時点の摂食・栄養管理を比較する。
研究における医学倫理的配慮について	Ⅰ．被験者の尊厳及び人権の擁護 通常診療で得られた既存情報のみを用いる非介入の後方視的研究とし、患者の尊厳を尊重する。 Ⅱ．被験者の個人情報の保護 研究 ID を付与し、氏名・患者 ID と研究 ID の対応表は解析データと分離して院内のアクセス制限された場所に保管する。解析・発表には個人を直接識別できる情報を用いない。 Ⅲ．被験者に理解を求め同意を得る方法 オプトアウト方式により研究内容をホームページに公開し、不同意の機会を保障する。 Ⅳ．研究等によって生ずる被験者への不利益及び危険性並びに医学上及び社会貢献の予測 新たな検査・治療を伴わず身体的負担は生じない。VF 評価と退院時の実際の摂食状況の関係を明らかにし、嚥下診療の質向上に質する。 Ⅴ．その他 学会発表・論文化を予定する。利益相反は各研究者について確認する。研究資料の保存・廃棄は院内規定および適用指針に従う。
お問い合わせ先	脳神経内科　尾上 祐行 済生会加須病院　（電話：0480-70-0888）

既存の検体や診療記録（カルテ情報）、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者さんを直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術

雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

お問い合わせにより、研究計画書の閲覧が可能となります。

研究対象の患者さんについては、研究内容を知るという目的の限りにおいて、研究計画書を閲覧することが可能です。それ以外の目的で研究内容の閲覧希望がある方、または研究対象の患者さん以外でご興味がある方については、個別に対応させていただきます。

研究への協力を希望されない場合には、お問い合わせ先までご連絡ください。

本研究は、患者さんのご協力により成り立っております。研究対象への組み入れを希望されない患者さんは、お手数ですが上記のお問い合わせ先までご連絡ください。組み入れをご希望されない場合でも、今後の診療行為に影響が出ることは一切ありません。